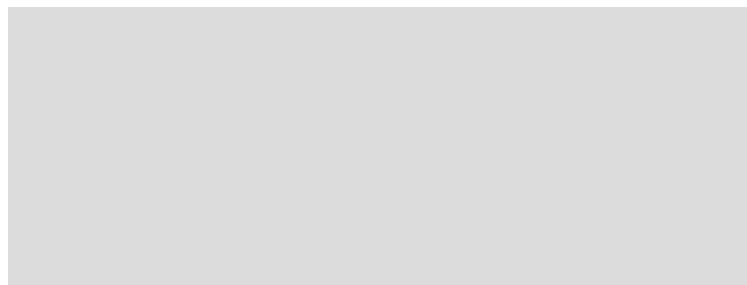


特集

フォーラム 2015 より

全国被害者支援ネットワークは日本被害者学会、犯罪被害救援基金、警察庁との共催により「全国犯罪被害者支援フォーラム2015」を10月2日（金）午後1時から東京都港区のヤクルトホールで開催しました。第20回目の今フォーラムには秋篠宮同妃両殿下がご臨席になり、全国の被害者支援センター、行政機関、警察などの関係者に一般の方も含め約500人が参加。秋篠宮殿下からおことばを賜りました。



全国犯罪被害者支援フォーラム 2015 表彰式にご臨席の秋篠宮同妃両殿下

秋篠宮殿下おことば

本日、「全国犯罪被害者支援フォーラム2015」が開催され、犯罪被害に遭われた方々、そして御遺族への支援に力を尽くしておられる皆様とともに出席し、本フォーラムの意義の深さに改めて思いを致しております。

全ての人々が安心して暮らせる安全な社会の実現は、私

たち皆がもつ共通した願いです。しかし、犯罪や交通事故は日々の暮らしの中で起こっており、その被害者となったがために、大きな精神的不安や経済的負担を抱え、平穏な生活を送ることができなくなっている人々の数が非常に多いと伺っております。

思いもよらぬ犯罪被害に遭う可能性は誰にでもあります。その現実から目を背けず、犯罪被害者に心を寄せ、これらの人々が再び安寧な生活を取り戻すことができる社会を作っていくことは私たちにとって大変重要なことと考えます。

平成16年に犯罪被害者等基本法が制定され、国や地方公共団体などにより犯罪被害者のための施策が進められるいっぽう、民間の犯罪被害者支援団体による支援活動が幅広く展開され、犯罪被害者支援の輪が広がってきていることを大変心強く感じております。

このような中、本年で20回目となる「全国犯罪被害者支援フォーラム」が開催され、犯罪被害者支援にかかわる多くの方々が一堂に会し、講演や意見交換を通して犯罪被害者支援についての認識を更に深めていかれることは、誠に意義深いことであると思えます。そして、今回のフォーラムを一つの契機として、社会全体で犯罪被害に遭った人々を思いやり、支える機運が一層高まることを祈念いたしております。

おわりに、本日表彰を受けられる方々の多年にわたるご尽力に深く敬意を表し、式典に寄せる言葉といたします。

全国犯罪被害者支援フォーラム 2015 おことばを述べられる秋篠宮殿下

平井理事長あいさつ

本日ここに、秋篠宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、全国犯罪被害者支援フォーラム2015を開催できますことは、誠に光栄であり、主催者を代表いたしまして、厚く御礼を申し上げます。

全国から参加された皆様とともに、この意義をしっかりと受け止めさせていただき、これからの犯罪被害者支援の拡充に努めていかなければならないと、決意を新たにしているところでございます。

また、公務ご多忙にもかかわらず、ご来賓としてご出席をいただきました。国家公安委員会委員 奥野知秀様、日本弁護士連合会会長 村越進様には深く感謝申し上げますとともに、ご参加賜りました皆様方には、日頃の犯罪被害者支援へのご尽力、ご協力に、深く敬意を表する次第でございます。

本フォーラムは、犯罪被害者支援にかかわる方々が一堂に会して、犯罪被害者支援の基本を学び、交流を深めて、犯罪被害者支援の充実に努めてまいりました。回を重ね、今回で20回目を迎えることができました。関係者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

全国被害者支援ネットワークは、本フォーラムにおいて表彰式を行わせていただくこととしております。

長年にわたって被害者支援活動に尽力しておられる方々、そして、被害者支援功労団体として受賞される皆様方には、心からお祝いを申し上げますとともに、深く敬意を表する次第でございます。これからも一層ご尽力賜りますよう、お願いいたします。

また、支援活動をご支援いただいている方々に感謝状を贈呈させていただき、深く感謝申し上げます。

皆様方のご努力によりまして、本年度で、全都道府県で被害者支援センターが、公安委員会から犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けることができました。

「被害者が日本のどこにいても、いつでも求める支援が受けられ、被害者の声に応える」という目標に向けて一歩近づくことができましたわけですが、多くの課題もございます。どうぞ今後とも、一層のご尽力、ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

本年のフォーラムは、「交通犯罪被害のない社会をめざして」というテーマとさせていただきます。

交通事故は近年減少してきてはいますけれども、まだ年間約63万件も発生し、悪質・危険な運転による重大事故も発生するなど、被害者支援活動に携わる者にとって大きな課題であります。

講演およびパネルディスカッションを通じて、犯罪被害者の心情と生き方をご理解いただくとともに、これからの犯罪被害者支援のあり方に関して、多くの示唆を得ていただけるものと考えております。

最後になりましたが、日頃ご支援いただいております日本財団、犯罪被害救援基金、ひまわり基金、日工組社会安全財団、日本損害保険協会等、多くの皆様方に心からお礼申し上げますとともに、今後とも引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ご参加いただきました皆様方の今後のご活躍を心から願ひまして、開会の挨拶とさせていただきます。